

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発 生 日

発生 令和7年7月3日(木) 速報 令和7年7月16日(水)

2 患 者 数

1名(女、50代)

3 概 要

(1)経 過

7月3日(木) 患者(岡山市)は、嘔吐及び発熱の症状を呈した。

7月6日(日) 患者は定期検便を行った。

7月15日(火) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O8)によるペロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

- ・患者の症状は消失している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参 考(患者発生状況)

区 分	令和7年1月1日から
岡 山 市	9人
県内(岡山市を除く。)	16人
県 内 合 計	25人

(岡山市の前年同時期の発生状況:17人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・坂上 直通086-803-1251 内線5751